

ピアノと歌声響き合う

FMおたる・おがわさんが新曲発売



ひとりカフェのCDを手を持つおがわさん(右)と杜さん

第21回
雪あかりの
路

「ひとりカフェ」は、大切な人と別れた後、いつも会っていたカフェを訪れた女性の心模様を描いた。お

杜さんがFMおたるで担当
がわさんは普段は曲作りや編曲も全て自身で手掛けており、オリジナル楽曲を提供されたのは初めて。「このチームで作ったからこそできた曲。いつもとは違う力が出せた」と話す。

FMおたる(小樽)のパソナリテイを務めるシンガー・ソングライターおがわとるさんが新曲「ひとりカフェ」を発売した。札幌の作詞作曲家、杜未来さんが作詞、毎年小樽雪あかりの路の会場で演奏している東京のピアニスト平間さと子さんが作曲を担当。平間さんはピアノ演奏で収録に参加。繊細で優しい音色の上に、おがわさんの透き通るような柔らかい歌声が重なる。(谷本雄也)

札幌の杜さん作詞 東京の平間さん作曲 「チームで作った曲」

当する番組に、平間さんが毎年出演しているのが縁で、昨年2月に一緒に曲作りすることを決めた。杜さんが書いた詞に、平間さんが曲を付けた。完成した曲のイメージを基に、おがわさんに歌を依頼した。杜さんは「詞と曲と歌の一体感が生まれた。FMおたる発でヒットし、小樽を盛り上げていければ」と期待している。平間さんは今年も小樽雪あかりの路の開催期間中の8～11日に会場などで演奏。ひとりカフェの生演奏も披露した。1300円で1日に販売

※小川さんは元本学職員です。

を始めた。ひとりカフェのほか、おがわさんの曲「雨の妻恋坂」を新たにアレンジした曲を含め4曲を収録。玉光堂小樽本店やFMおたるで販売している。